

「勝どき・豊海地区まちづくり協議会」、「勝どき五・六丁目、豊海分会」及び「晴海地区まちづくり協議会」合同まちづくり協議会

1. 日時

令和8年6月29日（月）午後6時30分～午後7時30分

2. 場所

月島第三小学校 体育館

3. 出席者

[構成員]	26人
[都・区関係者]	46人
[事業者]	9人
[オブザーバー]	22人
計	103人

4. 議事等

（議事）

（1）築地地区まちづくり事業について

- ・中央区要望事項に対する合意の検討状況について 【資料1-1】
- ・中央区まちづくり基本条例 開発計画に反映する事項の検討状況について 【資料1-2】
- ・交通対策について 【資料1-3】

5. 質疑応答

《議事（1）》

①新大橋通り上に計画している3本のデッキの間を道路上の通路で横に繋ぐことは考えていないのか。その方が回遊性が高まり、より円滑に人が流れるように思う。

⇒計画地の敷地内に、人工地盤をデッキと同じ高さ、2階のレベルで整備していく予定である。敷地内からいずれのデッキにも到達できるように計画していくが、公道上で繋がる予定はない。3本のデッキがどの方面に向かっているかという誘導はサインなども含めて、各方面に向かう人が使いやすいように配慮していく。（事業者）

②5万人規模のイベント時の混雑は、シャトルバスだけでは解決しないのではないか。交通のコンピューター解析でのシミュレーションはしているのか。イベント終了後、一気に人が施設外に出ていくが、シミュレーションは現実的なのか。周辺の駅までには歩いていくにはかなり遠いため、シャトルバスを何台導入すれば影響なく対応できるのか。ビックサイト行きのバスはイベント時には乗れない状況である。晴海の生活手段を奪うような計画にならないよう区の方から申し入れをして有効な手段を考えてほしい。

⇒交通シミュレーションのコンピューター解析については、手法が2つあり、一つは今回の計画で増える交通量について国の大規模交通マニュアル等も踏まえながら交通予測を行い、ピーク時に各経路にどのくらいの人や車が通るのかを整理し、交差点ごとに検証する方法で、関係機

関と協議を進めている状況である。もう一つが動的解析による計画地周辺の道路のシミュレーションであり、その両方を実施しているところである。混雑の解消は、シャトルバスとほかの方策との組み合わせで考えていきたい。シャトルバスは一つの有効な手段と考えている。（事業者）

⇒現段階で事業者から示されている案は、方向性を提示しているものである。具体的なデッキの幅や下り口はまだ決まっていない。シミュレーションについては、デッキの計画がはっきりしてくる中で検討しなければならない。デッキの構造等については、今後、具体的な詳細内容を逐次出させていただきたい。（中央区副区長）

③工事中の作業員の通勤について、大江戸線を利用する作業員も多いと思うが、現状でもかなり混んでいる時間帯もある。時差通勤などの対応は考えているのか。

⇒通勤ではなるべく車を使わないようにしていく予定だが、今後、施工についての検討を行う際には通勤時の人員の分散という観点も含めて考えていく。（事業者）

④資料１－２、１頁にまちづくり基本条例の開発計画に反映する事項の検討状況の一覧が記載されている。交通対策では⑤地下鉄出入口の整備が選択されていないが、検討はしていないということか。築地市場駅についてはどう考えているか。

また、資料１－１、９頁には工事作業員の車通勤による近隣の駐車場への負荷を生じさせないよう、とあるが、具体的にどのような対策を考えているのか伺いたい。最近ずっと晴海エリアのコインパーキングがワンボックスカーのような車で朝から満車となっていることが多いが、心当たりはあるか。工事に必要な駐車スペースは確保しているのか。

⇒地下鉄新駅の位置が未だ決まっていないので、現時点では選択項目に入っていないが、新駅の位置の具体化に伴って、跡地でどう接続できるか検討していく。築地市場駅についても、高速晴海線の出入口などインフラ整備計画の具体化を踏まえ、どう接続するか今後検討していく。当計画地では現在、埋蔵文化調査を行っているが、作業員に対しては公共交通機関を利用して通勤するよう指導しているがやむを得ず車で通勤する場合は計画敷地の中で必要な駐車スペースを用意する。晴海の駐車場の現状は詳細に把握できていないが、改めて通勤にあたって公共交通機関を利用することを徹底させていきたいと考えている。工事が始まれば、工事作業完了後のシャワー設備や荷物置場を用意するなど、公共交通機関を利用しやすい環境を整えていきたい。（事業者）

⇒工事が始まれば、区としても敷地の中で工事作業員用の駐車場を確保することを事業者申し入れていく。周辺に影響が出ているようであれば、逐一事業者へ伝えていくので、もしそういったことがあれば言っていただきたい。まちづくり基本条例の開発計画に反映する事項の検討状況の一覧は、現状必ず実施する予定であるものに○をつけている。実施できる項目についてはぜひ反映していただくよう事業者へ申し入れていく。（中央区都市整備部長）

⑤資料１－１、２頁に各デッキの位置が図示してあるが、デッキ③の先、新橋駅方面へは特別な対策を考えているのか。

⇒新橋方面にどのようなルートで流すかについては、今のところ検討しているのは新大橋通りを渡っていただくというところである。その先は既存の歩道の状況等の調査も踏まえ、誘導を図っていく。（事業者）

⑥資料１－１、２頁のデッキ①はいつ整備予定か。①だけは早期に作るということだが、跡地開

発側の施設が完成していないのにデッキを造れるものなのか。

⇒この近くには高速道路や地下鉄新線の駅の計画があり、それらの計画は中央区、東京都、首都高速道路株式会社の３者で検討会を実施しているが、整備はいつになるかは調整中と聞いている。それが見えた段階で早期に整備するという考えであり、時期としてはデッキ①は、デッキ②や③よりも後になるようなイメージである。（事業者）

⑦晴海通りの横断機能を強化することは検討しているのか。

⇒難しい課題であり、検討していないわけではないが、晴海通りをデッキで渡すのは技術的にハードルが高いと考えている。区としては、事業者に対して晴海通りの横断機能に関する問題への直接的な要望はしていないので、事業者からも回答していない。晴海通りの両側は、地下でつないだ方がよいのではないかという考え方もあるが、地下埋設物も様々ある中で、検討はしているがなかなか難しいというのが実態である。（中央区副区長）

⑧工事中の子供たちの安全確保について、工事現場のあるエリアから少し行くと小・中学校があるので、トラックの運行にあたっては安全に注意していただきたい。近隣の小学校等とも意見を交わしながら安全確保の対策をしていただきたい。

《その他》

・築地市場跡地の埋蔵文化財の現場見学会を７月１２日（日）９時から１３時まで開催する。（東京都）

以上